

令和8年度 第1回江戸川区熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画検討委員会

● 議 事 要 旨 ●

開催日時：令和8年6月10日（水） 午後7時～午後9時

開催場所：グリーンパレス 千歳芙蓉

出欠席

所属等	氏名	出欠
聖学院大学	古谷 野亘	出席
江戸川区医師会	◎小川 勝	出席
江戸川区医師会	○浅岡 善雄	出席
江戸川区歯科医師会	小宮 徳春	出席
江戸川区薬剤師会	佐々木省吾	出席
東京都医療ソーシャルワーカー協会	藤井かおる	出席
江戸川区訪問看護ステーション連絡会	田中 直美	出席
江戸川区熟年者福祉施設連絡会	林 義人	出席
NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会	山本 裕	出席
江戸川区訪問介護事業者連絡会	江澤 岳広	欠席
江戸川区地域密着型サービス事業者連絡会	梅澤宗一郎	出席
熟年相談室（地域包括センター）	長谷川 真	出席
江戸川区民生・児童委員協議会	加納 幸子	出席

所属等	氏名	出欠
江戸川区社会福祉協議会	岡村 郁子	出席
なごみの家（江戸川区社会福祉協議会）	井尻 真美	出席
公 募	行田 元	欠席
公 募	田部井 清	出席
公 募	阿部 仁	出席
公 募	小森未知代	出席
江戸川区連合町会連絡協議会	中川 泰一	出席
江戸川区くすのきクラブ連合会	山崎 一男 代)大山芳男	出席
江戸川区ファミリーヘルス推進員会協議会	石井 恵子	欠席
江戸川区区議会議員	小林 智夫	出席
江戸川区区議会議員	窪田 龍一	出席
江戸川区副区長	加藤 英二	出席

◎委員長 ○副委員長

1. 開会
2. 区長あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 交代委員の紹介
5. 議事

委員長 本日の論点と議題（１）会計策定にかかる総論、（２）生きがいづくり・介護予防・健康づくりについて事務局より説明をお願いする。

（１）計画策定に係る総論について

委員長 続いて議事の（１）「計画策定に係る総論」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料３について説明

（２）生きがいづくり・介護予防・健康づくりについて

委員長 続いて議事の（２）「生きがいづくり・介護予防・健康づくり」について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料４について説明

委員長 今までの説明について、委員の皆様全員から順にご意見をいただきたい。

委員 外出頻度が高い点において、歯科医師会の立場から、お口の健康が少なからず寄与しているのではないかと考えている。口腔は、食べる、話す、学ぶといった行為を通じて、栄養摂取だけでなく、人との繋がりや社会参加、そして生活の質、クオリティーオブライフを支える役目を果たしている。歯の健康、お口の健康が損なわれると、人前で食べるのが恥ずかしい、或いは話しぶらいなどと感じるようになり、外出や人との交流に消極的になる傾向が見られる。それが社会参加の減少や孤立、或いは引きこもりに繋がる可能性が考えられる。

一方で、お口の健康が保たれている高齢者ほど、趣味やボランティア活動への参加が活発で抑鬱も少ないということが報告されている。

歯科医師会として、江戸川区に住み続けたいと思う多くの区民の皆様が、いつまでも美味しく食べて、楽しくおしゃべりをして、元気に外出できる、まさに江戸川区が目指す年を重ねても幸せに暮らせるまちを実現するために、その一翼を担っていかれたらと思う。

委員 薬剤師として勤務している中で、なかなか外出していないというお話もあって、どうやって外出していただく機会を出せるかというのが課題である。

薬剤師会として、なごみの会とご協力させていただき、そこに集まってくださる方々に講演をしている。薬局によっては健康サポートライフということで、講演をして、他の健康相談、健康サポートというところに力を入れている部分もある。集客が課題であるが、より多くの人に来ていただき、健康について考えていただ

き、そこで知り合った人と繋がりができて、より外に出るというところで、薬剤師会としては今後、介護予防としての取組に力を入れていきたいと思っている。

委員

一番感じるのは孤立のところで、どこにも所属しないという方が半分いるということ。健診も受けないし、その地域にも参加していないという、この辺りが普段やっている中で気になっている。

外来で高齢者の方も増える中、医療・介護の連携をさらに進めて、相談しやすい医療機関、相談機関になるということで、皆様のお力を借りたいと思っている。

委員

とても積極的で周りの方とお話をしたりとかするのが好きな方はどんどんいろいろなところに参加されると思うが、認知症や軽度の精神疾患などで閉じこもりがちで、外部との接触が難しい方もいると思う。要介護認定がされればケアマネジャーがついて外出するのは可能かと思うが、見えていない支援の必要な人をどう探して、その方にアプローチするのかということが大切だと思った。

委員

我々の施設の方では人材が非常に不足している。介護の常勤でいうと外国人が7割となっている。人材不足に関してはなかなか答えが出ないが、外国人の採用、AIの活用、そして小中学生を初めとした今後の介護人材を育てていくための福祉人材の教育という形で地域に出ていっている。

お話にあったプラチナディスコとか、生きがい応援団も非常に面白いと思う。高齢者だけの集まりの会というよりは、様々な世代の人が集まって、高齢者を知る、それから社会福祉、地域福祉にいろいろな世代の人が関わっていく1つのきっかけになると思った。

委員

ケアマネジャーの業務の中で、独居の方、身寄りのない方がとても多い中、フレイル予防はとても重要だと思う。

江戸川区において、他地域から見ても様々なボランティア、シルバー人材などはすごく充実している。これらの活動をしっかりと維持していくことはとても重要であり、その中で若者の協力は欠かせない部分である。例えば小学校、高校などで、高齢の方の文化を知っていただくことで、すごく学びになる部分もあるし、高齢の方も若者の方と話しをすることで、とても生きがいに感じていただくこともあると思う。

以前 1 万円を給付いただいたときに、LINEとかを使ったと思うが、結構高齢者の方で使えない世帯の方が多く、家族がやっている方が多かったと思う。そういうところをうまく活用して、家族から高齢者の方に言ってもらえるような告知があると大変ありがたいと思った。

委員

独居の方、引きこもり世帯とかに足を運ぶ機会がある中、地域のいろいろな活動して、そこに参加することで生きがいを感じ、精神的にも肉体的にも元気になられている方にも出会うこともある。そういった方には誰もが楽しめるスポーツとか、外出できるような環境づくりが非常にいいと感じた。

またそれを評価していくというところで、地域の活動を根づかせ、そして継続していくにはやはり 10 年ぐらいかけて、段階を追って評価していくことが必要だと現場にいて感じる。

一方、いい事業がたくさんあることを区民の方たちに知っていただくために、SNS やインフルエンサー等、総合的な力を借りて、地域の人たちに情報発信をし、参加率を高めていくことが非常に必要だと思う。情報発信というところで、もう少し力を入れていくことが重要だと思った。

委員

業務の中で独居高齢者の方の問題というのはすごく増えてきていると実感している。1 人でも安心して生活ができる環境を整えるということが大事であり、制度を充実させたり、地域で活躍したり活動できる場、そういった環境を整えて、より充実させていくということがすごく大切だと感じている。

一方、人付き合いはすごく苦手な方という方も多くいて、そういう方がなかなか、社会資源の方に結びつかないところはすごく課題と感じている。そういう方々の孤独感を和らげるという 1 つとして、例えば誰もがゆるくつながれる場所など、そういうところに参加いただけるよう、社会資源を結びつけるコーディネートで、社会とつながる仕組みを整えていくことがこれからの取り組みの 1 つとして大事だと感じている。

委員

高齢者の活動する場所として、くすのきカルチャー教室とか、身近なところではくすのきクラブ、なごみの家、シルバー人材センターなど、そういうところの情報を得るというところが一番大切ではないかと思う。

高齢者の方の中には、スマホやパソコンが苦手とおっしゃる方が多くいらっしゃる。一番身近なのは自治会や町会の回覧版だが、自治会や町会に入る方も減ってきている。高齢者になればなるほど、何かわずらわしくて退会したいという方も増えている。私たちとしても、町会・自治会の維持や拡大を考え、これからも活動していきたい。

委員

社会福祉協議会では、終活フェアを行い、かなりの反響もいただき、たくさんの方に関心を持って参加いただいた。そういった中で、ご自身の希望するエンディングをネガティブに考えるのではなくて、事前に決めておくことで、これからの生きがいつくり、例えば友達づくり、健康づくりを前向きに考えていただける、そういうタイミングを目指すべきと考えている。

そしてリビングウエルのことについても、権利擁護と連携していければ、孤独孤立死のような事例はもっと減らせると考えている。そういったことも少し計画に入れていただければと思う。成年後見制度は、2028年の制度改正で、ますます地域での権利擁護、見守りが重要になってくると考える。地域が地域を見守り、支えていくシステムづくりも計画に入れていくべきと思った。

委員

なごみの家の現場で、高齢者の生きがいを感じる場面に向き合ってきた。それぞれ状態は違うが、所属する場所や役割が生きる原動力になっていると感じた。

一方で、人間関係の希薄さの方が気楽という方に対しても、気軽に参加できるような工夫も必要だと思う。その方法の一環として、民間企業と連携して、様々なコンテンツを用意して、民間のやわらかい発想の中で、コラボしていけたらいいと感じる。

また要支援 1の方が増加という話があったが、要支援 1の方は、身体状況は若干落ちているが、まだまだ気力がある方も多いと思うので、少し担い手になってくださる方もいるのではないかなと思う。ただそういう方のコーディネートがないということなので、例えば支援者同士でなごみの家と熟年相談室をケアマネジャーと連携するような仕組みがあれば、担い手としての関わりがもう少し増えていくのではとないかなと感じている。

委員

シニアカルチャースクールに通っており、1年間の活動を通じていろんな話をし、人と人との繋がりができていると思った。

江戸川区にもいろいろといいグループがあるので、毎回減少の話ばかりでなくて、どうしたらいいかを考えないといつまでたっても、役職不足は解消されないと思う。今は働き方改革で、定年後も再雇用があり、働きたい人は地域で活動するよりもそちらの方に行ってしまう。今までのやり方ではなく、地域に出てこない人たちをどういう形でも出てきてもらって、頭の活性化をしてもらえたらと思う。

委員

ケアラズカフェでは、もっと広げてたくさん来ていただくように、月に何回か、曜日を決めてイベントを開催し、人をできるだけ集めるように行っている。1 年少し経つが、一番大きな問題は人を集めるという、広報が一番大事だと思っている。

江戸川区でも、広報をうまくやって、できるだけ人に知らせることが大切だと思う。先ほど話に出たディスコとか、ボッチャとか、いろいろな形で人を集められるように試していくといいのではないかと思う。

委員

江戸川区の場合は、歩道と車道の段差がすごく平らで、他の隣の区とも区境がわかるくらいきちっとしているが、車道の中での段差があるので、怖いと感じるところがある。

あとバス便などもあれば、いつまでも楽しくおしゃべりして食べて歩くというのを続けたい。ただ、突然の激痛に襲われたり、突然倒れた際の心配はある。

委員

くすのきクラブの活動を通じて、クラブの会員は主に仲間とのきずな、社会への貢献、それからみずからの健康成長の 3 つを実感したときに、大きな生きがいを感じると考えている。仲間とのきずなは、趣味の会とか文化スポーツ活動を初めとする様々な交流を通じて、顔の見える関係を作ること、誰かと繋がっているという安心感になっている。外出が困難な会員の安否確認や話し相手など、相手の孤独を支え手として役割を果たす重要な活動である。社会への貢献としては、社会奉仕活動を通じて、地域の人々から直接ありがとうと感謝する機会が多く、地域社会での新たな役割や居場所を見つけられることが大きなその喜びに繋がっている。みずからの健康成長については、区のリズム運動や健康講座を通じて、仲間と体を動かし合うことで、お互いの身体と心のサポートが感じられて、健康の尊さを再確認できる。

これらの多様な活動の中で、年齢や性別を問わず、誰もがお互いに手を取り合って、共感や成長分かち合う活動がくすのきクラブで感じられる。

委員

町会自治会の方々に興味を持ってもらうため、各町会自治会でホームページを作って、非常に多くの方々から反響があった。区の行事、そして地域の行事、町会の行事をどんどん発信している。区民運動会というのが各地域であるが、最近はいさい子どもから両親、そしておじいさん、おばあさんまでが参加をしてくださるような運動会になり、非常に盛況になってきた。情報発信をすることによって、人が集まってきている。

スマホ教室も展開しており、大体 70 歳代、80 歳代の方々が、1 町会、1 回で 100 名ぐらいの参加がある。みんなで興味を持っていくことが一番ではないかと思う。

委員

以前は国民健康保険の後期高齢者医療制度に 6 年携わっており、医療費の問題は避けられない。少子高齢化が避けられない現状の中、誰もがいつまでも元気に活躍できる社会の実現が医療保険制度の持続可能につながると改めて思った。

多様化する住民ニーズと活動への参加状況のアンケートの結果で、様々な理由で参加されない方がおられるが、PR とか活動内容などの工夫をすると、参加がある程度見込まれるのではと思った。

人間関係を参加しない理由にされる方が一定数いる。こういった方をどうすれば内向きなのを外向きにしていけるのかは難しい課題でもあり、問題でもあると思っている。

委員

介護が必要になってから手だてする施策よりも、その前に、いかにしてそれを抑えるかっていうことで、かかりつけ医やかかりつけ歯科医による日常的な健康管理、定期的な健診、適度な運動や地域活動への参加をどれだけ皆さんに行ってもらえるかを常に考えている。

介護人材の不足というのは何十年も前から言われていることで、議会の一般質問で、介護をするなら江戸川区と言われるような施策をぜひやっていただきたい、そうでなくては、介護人材が不足して、介護事業者が本当にやっていけなくなると伝えさせていただいた。

地域に目を向けると、地域の担い手不足がある。その中で元気な高齢者が、地域活動や見守り活動の担い手として、活躍できる環境の構築は大事だと思う。なごみの家を初めとする、拠点での活躍の場をどんどん増やしていかなければいけないと思っている。

支えられる高齢者を増やさない施策から、支える高齢者を増やしていく施策へと、少し発想の転換が必要だと思う。

委員

江戸川区の施設の方とか、相談窓口とかでの寄り添う力が、地方よりも格段に上というのを自分事としてとらえてきた。

行政と現場の皆さんが情報を数値化して、これから先を見据えていく、これを続けてさえいれば、2年、3年経ってもこの数値に基づき、行政の方が皆さんと一緒に現場の力を集めてやっていくことがすごいことだと改めて感じた。

行政側で発信しているのにもかかわらず、当事者が理解していない、理解できていない。これだけ情報発信しているので、どちらかということ区民一人一人が住んでいる責任を持って知っていく力をどうやって作っていくか、その部分が非常に大切だと感じた。

委員

成果指標について、計画を作る、実行することは大事だが、やりっ放しにするのではなく、それがどれだけの成果を上げたかということ把握して、評価していくというのはもっと大事である。ただ、これは非常に難しい。幸福度を上げるというのが最終的な目標だということで、その幸福度を測るために主観的幸福感という概念を使うと書いてある。この主観的幸福感はいわゆるグローバルメジャーである。同じ点数でも理由が違うので、それに対応するための施策も全く違うということになる。中間アウトカムとか初期アウトカムという、もう少し具体的な指標を用意して、それらがどう絡んでいくかということ追っていくような構造を作られている。これは大変すぐれた取り組みであるが、中間アウトカムや初期アウトカムがこれでいいのか、これだけで足りているのかというと、検討の余地があると思う。それぞれの指標の測り方はもっと難しい話だし、さらに難しいのはそれが相互に絡んでいる。いろいろな要因があったとき、統計的な解析も必要になってくるだろうし、まだまだ検討すべき余地はあると思う。時間をかけてやっていくというのは大変すぐれた取り組みだと思うので、これからもぜひ進

めていただければと思う。

副委員長 一番引っかけたのは幸福度で、結果を出すのには指標が必要だが、この幸福度は当てにはならないと思っている。このディスカッションを職員に対してもいろいろしたが、みんな違った。主観的というのはまさにその通りで、自分がどう思うかだけである。

幸福度でアウトカムを評価するのは少し厳しいと思う。幸福ではなくて、不幸ですかという気持ちを酌み取るのもありではないかと思った。不幸にならないためには、いわゆる孤独でない、孤立してない、人と社会と繋がりを持つということが大事である。

支援 1 の方はまだまだ動けている人が多い。支援 1 を受けていることで、何らかの高齢者のセーフティーネット、何かあったときにすぐ介入する、そういう算段を持っているということを広げたらいいのではないかと思う。

委員長 皆さんから貴重な意見をいただいた。やはり「生きがい」というキーワードが非常に多かったと思う。この生きがいは時代とともに変わっていくと思う。2040 年との話があるが、ここからどういう多様性をとったものになってしまうのかというのを見ていく必要があると思った。

生きがいを感じるうえで、重要なのは健康であり、フレイルを予防するには社会参加、運動、そしてオーラルフレイルと様々なものが関わっている。健康を維持するということがまず生きがいを養う部分では重要な観点の 1 つと言えると思う。

事業者側も広告とかでの周知という話もあった。区の行っている事業や独自の事業をどこでも見られるような場所も必要だと思う。周知する方法はスマホなど、いろいろあるが、「紙」も重要な部分かと思っている。情報に関しては、受け手の方にわかりやすい情報提供、完結した情報が必要かと思うし、それを補う事業者側のサポートも重要だと思う。

冒頭、福祉部長から太田先生の話があった。いつも言われていたのは、江戸川区は非常に地域のネットワークがしっかりしている、これは誇れるものだと言っていた。そういったところをこれからも、皆さんのご意見を参考にしながら、江戸川区も頑張っていければと思っている。

6. その他

委員長 次回の開催日程について事務局から願います。

事務局 第2回の開催予定案内

日 時：7月17日（木）午後7時から

会 場：グリーンパレス 5階 孔雀

7. 閉会

以上